学校番号	324

令和８年度　ＧＥ科

教科	ＧＥ	科目	グローバル倫理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述倫理」（実教出版）						
副教材等	「テオーリア　最新倫理資料集」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

青年期の意義や課題、ギリシア思想、そして世界宗教であるキリスト教・仏教・イスラーム教、近代ヨーロッパの思想などを中心に、これからの自分の生き方を考えるうえで参考となる思想を勉強していきます。そして、現代の不安定な社会において、自分とは何か、自分はどこへ向かい、何を形成していくのか、近代の先にある社会を、先哲の思想をたどりながら考えていきます。授業の中で様々な考えに触れ、自らの人生が豊かなものになるよう、この授業を生かしてほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手がかりとなる概念や理論について理解する。
・諸資料から、人間としてのあり方生き方に関わる情報を調べ、まとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・自立した人間として、他者とともによりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・古今東西の幅広い先哲の思想や、青年期における自己形成や人間としてのあり方・生き方などに関する基本的な知識を、自己の人格形成や現代の倫理的課題との関わりにおいて理解している。 ・古今東西の幅広い先哲の思想や、自己形成や人間としてのあり方・生き方する資料や現代の倫理的課題に関する様々な資料を収集、主体的に選択し、自己形成や人間としてのあり方・生き方を考察するために活用することができる。	・他者とともに生きる自己の確立についての課題を見つけ、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ・古今東西の幅広い知的蓄積をふまえて、広い視野に立ち、良識ある公民として主体的かつ公正な判断ができるよう論理的に思考し、他者と対話しながら思索を深めている。	・人格形成の主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持っている。 ・個人としての人間や、多様性に対する関心を持ち、それを尊重する精神を高めようとしている。 ・倫理的な諸課題について、探究する態度を身につけ、人間としてのあり方や生き方への自覚を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自己形成と自己の生き方	・青年期の課題と自己形成 ・人間とは何か	a: 人間の特質と個人の人格形成における青年期の特徴と重要性を理解し、その知識を身につけている。また、自己の世代や青年期に関わる諸資料から、青年期に関わる情報を読み取り、比較する技能を身につけている。 b: 自己や自己の世代が課題として捉えていることを的確に表現している。 c: 人格の形成期としての青年期の意義を認め、主体としての自己の確立に努める意欲をもっている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート

	人間としてのあり方生き方	・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想 ・宗教・芸術と人生	a: それぞれの思想・宗教における基本的な考え方を理解し、その知識を身につけている。また、諸資料から、人間としてのあり方生き方に関わる情報を読み取る技能を身につけている。 b: 古今東西の先哲の考え方を手がかりとして、より広い視野から人間としてのあり方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 古来、人類が育んできた思想・宗教に関心を持ち、これを理解しようとする柔軟な態度と意欲をもっている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート
	社会・世界と人間としてのあり方生き方	・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・近代的人間の見直し ・現代と暴力に抗して	a: 西洋近代の思想についての基本的考え方を理解し、その知識を身につけている。また、諸資料から、人間としてのあり方生き方に関わる情報を読み取る技能を身につけている。 b: 西洋近代の思想を手がかりとして、より広い視野から人間としてのあり方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 近代を形成する思想・宗教に関心を持ち、これを理解しようとする柔軟な態度と意欲をもっている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート

後期	国際社会に生きる日本人としての自覚	・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開	a: 日本が受容し発展させたそれぞれの思想・宗教についての基本的な考え方を理解し、その知識を身につけている。また、諸資料から、人間としてのあり方生き方に関わる情報を読み取る技能を身につけている。 b: 日本が受容し発展させた思想を手がかりとして、より広い視野から人間としてのあり方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 日本が受容し発展させたそれぞれの思想・宗教についての関心をもち、理解しようとする柔軟な態度と意欲をもっている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート
	自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	・生命の倫理 ・環境の倫理 ・科学技術の倫理	a: 生命・自然・科学技術などと人間との関わりについての基本的な考え方を理解し、その知識を身につけている。また、諸資料から、人間としてのあり方生き方に関わる情報を読み取る技能を身につけている。 b: 生命・自然・科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手がかりとして多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 生命・自然・科学技術などの現代の社会が抱える課題について探究する態度と意欲をもっている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート

	社会と文化にかかわる諸課題と倫理	・福祉の課題 ・文化と宗教の課題 ・平和の課題	a: 福祉・文化・宗教・平和などについての基本的な考え方を理解し、その知識を身につけている。また、諸資料から、人間としてのあり方生き方に関わる情報を読み取る技能を身につけている。 b: 福祉・文化・宗教・平和などについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 福祉・文化・宗教・平和などの現代の社会が抱える課題について探究する態度と意欲をもっている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度